

【交付運用報告書のイメージ】

交付運用報告書

〇〇世界三資産ファンド  
(毎月分配型)

追加型投信／内外／資産複合

第34期(2008年8月15日決算) 第37期(2008年11月17日決算)  
第35期(2008年9月16日決算) 第38期(2008年12月15日決算)  
第36期(2008年10月15日決算) 第39期(2009年1月15日決算)  
作成対象期間(2008年7月16日～2009年1月15日)

●運用方針

世界各国の債券、株式、不動産投資信託(REIT)を主要投資対象とし、これらの資産に概ね7:2:1の割合を目処にバランスよく投資します。

第39期末	
基準価額	6,947円
純資産額	53,271百万円
第34期～第39期	
騰落率※	△21.3%
分配金合計	210円

※ 騰落率は当作成期分配金(税引前)を加算して算出しています。

各社の自由裁量

〃 = = = = = 〃  
〃 毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。〃  
〃 さて、「〇〇世界三資産ファンド」はさる3月17日に決算を行いましたので、ここに当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。〃  
〃 なお、当ファンドの運用は、当社入社以来20年にわたり日本株の運用に携わってきました運用部長の下で臨んでまいりましたが、このたび運用態勢強化の観点からリサーチ担当チームのトップとして、当社において最大の運用総額を誇る「〇〇新興国アクティブ」の運用を設定以来指揮してきた海外投資部長を配置しました。〃  
〃 CEO兼執行役社長 山田太郎 〃  
〃 [挨拶文、運用体制等] 〃  
〃 = = = = = 〃

〇〇アセットマネジメント

東京都中央区日本橋〇-×-× お客様ダイヤル 0120-12-3456

本書記載事項以外の詳細な内容を記載した運用報告書全体版は  
弊社ホームページ(下記アドレス)でご覧いただけます。

<http://xxx.ooo-am.co.jp>

また、運用報告書全体版は販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。

## 今期のポイント

金融危機の発生等により株式市場をはじめ REIT 市場や主要各国通貨が大幅な調整局面を迎えた。当ファンドの純資産の7割を投資する世界債券ファンドにおいても欧州諸国の債券が下落した他、世界 REIT ファンドの不調も加わり、基準価額は23.6%の下落。[当期の運用状況に関する要約文]

## 運用経過

### 基準価額の推移

#### ■ 基準価額は23.6%の下落

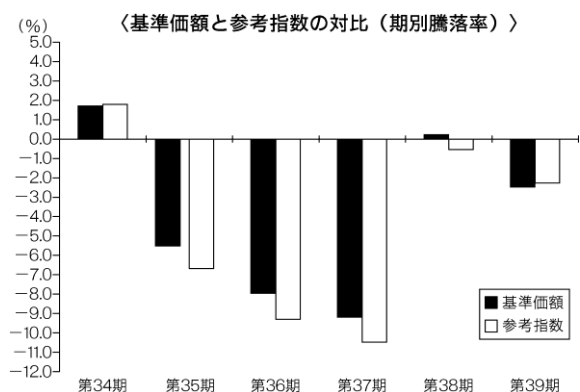
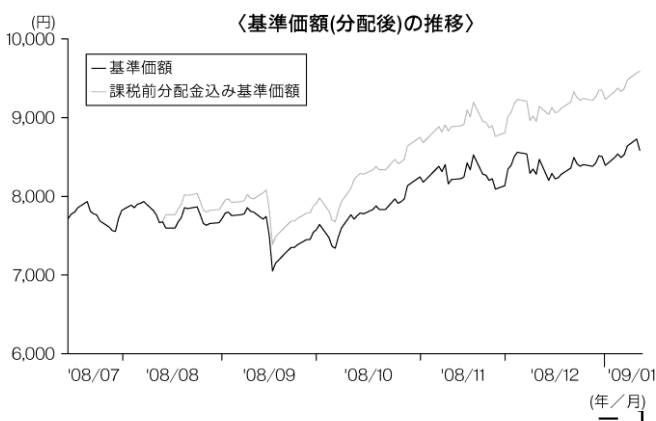
基準価額は、第34期期初9,091円から第39期期末には6,947円(分配後) (第34期期初基準価額比 $\Delta$ 23.6%)となりました。この間、分配金として1万口当たり計210円の分配金をお支払いしましたので、分配金を加算した基準価額の値下がり額は1,934円(第34期期初基準価額比 $\Delta$ 21.3%)となりました。

なお、基準価額は信託財産から信託報酬が支払われた後に算定されます。第34期期初から第39期期末までの期間に信託財産から支払われた信託報酬額は1万口当たり計48円です。

#### ■ 参考指数(ベンチマーク)との差異

当ファンドは、世界債券マザーファンドを70%程度、世界株式マザーファンドを20%程度、世界REITマザーファンドを10%程度組み入れる運用を行いました。その結果、第34期から第39期の間に、参考指数の騰落率が $\Delta$ 25.0%となったのに対し、基準価額の騰落率<sup>※</sup>は $\Delta$ 21.5%となりました。

※基準価額の騰落率は、分配金(税込み)を再投資して算出しております。



## ■主な基準価額の変動要因

(上昇要因)

○金融市場の混乱が実体経済に波及し、景気減速懸念が急速に高まったことから米国、欧州、日本など世界の債券市場が堅調に推移したこと

(下落要因)

○リーマンブラザーズの破綻を機に金融危機が発生し、投資家のリスク回避的な行動が強まったことや世界的に景気が急減速したことなどから株式市場が大幅に調整したこと

○世界的な景気減速や一部REITの資金繰り懸念、不動産市況の悪化からREIT市場が下落したこと

○米ドル、ユーロ、英ポンドなど主要通貨が円に対して大幅に下落したこと

## ■当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	株 式 先物比率	債 券 組入比率	債 券 先物比率	投資信託証券 組入比率	純資産
		騰落率	騰落率								
第34期	(期 末) 2008年8月15日	円	%		%	%	%	%	%	%	百万円
		9,246	1.7	116.66	1.8	20.1	—	68.6	—	9.8	63,264
第35期	(期 末) 2008年9月16日	8,703	△ 5.5	108.86	△ 6.7	19.1	—	68.9	—	9.4	60,438
第36期	(期 末) 2008年10月15日	7,978	△ 8.0	98.74	△ 9.3	17.7	—	69.4	—	8.5	58,872
第37期	(期 末) 2008年11月17日	7,213	△ 9.2	88.40	△ 10.5	18.9	—	69.2	—	8.1	56,945
第38期	(期 末) 2008年12月15日	7,194	0.2	87.92	△ 0.5	20.0	—	68.1	—	9.5	54,585
第39期	(期 末) 2009年1月15日	6,982	△ 2.5	85.92	△ 2.3	19.3	—	69.7	—	8.6	53,271

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率、債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

### 各社の自由裁量

☞ 参照指数（ベンチマーク）とは、投資信託等の運用において、その運用目標となる指数のことを指す。日本株に投資をする場合は TOPIX や日経平均株価などが代表的。パッシブ運用の場合はベンチマークと同水準、アクティブ運用の場合はベンチマーク以上の成果を挙げることを目標としている場合が多い。【専門用語解説、巻末に用語集を付することも考えられる】

(主なプラス要因 [基準価額])

- 世界債券マザーファンドで、投資家のリスク回避姿勢の強まりによって大きく買われた円をオーバーウェイトとしていたこと
- 世界債券マザーファンドで、各国の大幅な利下げを受けて世界的に債券価格が上昇(利回りは低下)する局面において、ファンドの金利感応度を引き上げたこと
- 世界株式マザーファンドで、配当利回りの水準や増配の継続性などから、市場平均と比べて多めに投資していた飲料・タバコなどの消費安定株や医薬品株の値動きが市場平均と比べて良好だったことや配当利回りが高いことと金融市場の混乱の影響が比較的少ない理由で多めに投資していた、米国・英国の大手銀行株や米国の公益株の値動きが市場平均と比べて良好だったこと
- 世界REITマザーファンドで、他の国・地域と比べて大きく下落したイギリスのREITなどの組み入れを少なめにしたこと
- 世界REITマザーファンドで、米国やアジアにおいて、個別の銘柄選択が奏功したこと

(主なマイナス要因 [基準価額])

- 世界株式マザーファンドで、配当利回りが低いため、市場平均と比べて少なめに投資していたエネルギー株や素材株のパフォーマンスが市場平均を上回ったこと、配当利回りが高いことから多めに投資していた英国の専門小売株、消費者金融株、米国の医薬品株などが値下がりにしたこと
- 世界債券マザーファンドで、投資家のリスク回避姿勢の強まりによって売られた欧州諸国の債券を多めに保有していたこと
- 世界REITマザーファンドで、他の国と比べて相対的に配当利回りも高く、相対的に魅力度が高いことなどから割安と判断し、組み入れを多めにしていた豪州のREITやカナダのREITなどの下落が、他の国・地域と比べて大きかったこと

## 投資環境

### ■世界債券

(上昇要因)

- 世界的な景気後退懸念を背景に各国で大幅な利下げが実施され、債券価格が上昇(利回りは低下)したこと(下落要因)
- 投資家のリスク回避姿勢の強まりによって円が買われ、為替が円高・ドル安、円高・ユーロ安となったこと

### ■世界株式

(上昇要因)

- 米国でオバマ次期政権の景気刺激策や、政策金利の引き下げが発表されたこと(下落要因)
- 米証券大手の破綻や米金融機関の経営不安、欧州金融機関の国有化など、米国発の信用不安が欧州にも拡大したことや、金融危機の悪影響が实体经济へ波及し、世界的な景況悪化を示唆する経済指標の発表が相次いだこと

## ■世界REIT

(上昇要因)

○世界的な金融危機に対応するために、FRB(米連邦準備制度理事会)やECB(欧州中央銀行)など先進国主要6カ国の中央銀行による協調利下げが行われたことや米政府系住宅金融会社への公的資金支援策や住宅ローンの借り手への救済策などを含む法案が成立したこと

(下落要因)

○米国の大手自動車メーカーにおける経営難や、米国の有力小売販売業者の破たんなど、金融システム危機による実体経済への影響が顕在化し始めたことから、深刻な景気後退に対する懸念が急速に高まったことや、米国の住宅や金融株の大幅な下落に合わせてREIT価格も連れ安したこと

## ■円／ドルレート

(円高・ドル安の要因)

○欧米の金融市場の混乱や深刻な景気後退が進展したことや、欧米中央銀行の大幅利下げによって日本との金利差が縮小したこと

(円安・ドル高の要因)

○ポールソン米財務長官が強いドルを支持すると発言したほか、ファニーメイとフレディマックに対するの救済法案が議会で承認が得られ、信用収縮懸念が後退したこと

## ポートフォリオ

### ■〇〇世界三資産ファンドの運用

各マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の債券、株式およびREITに投資しました。各マザーファンドへの投資比率は、世界債券マザーファンド：世界株式マザーファンド：世界REITマザーファンド＝7：2：1を基本に、高位の組み入れを維持し、第39期期末の各ファンドの組入比率は債券71.3%、株式19.7%、REIT9.0%の合計100.0%としました。

なお、実質外貨建て資産に対する為替ヘッジについては、世界債券マザーファンドで行いましたが、当ファンドでは行いませんでした。

### ■世界債券マザーファンドの運用

○債券組入比率は高位を維持し、第39期期末は97.7%としました。

○地域(国)別配分では、国内債よりも利下げ余地が大きいと思われる外債の魅力度がより高いと判断しました。外債の中では、世界的な景気減速を見込む中で、欧州が7月に利上げを実施したことで、景気後退による金利低下余地がよりあるとの見方から、欧州債へ市場平均に比べて多めに投資しました。

○通貨配分では、長期的なドル安見通しから、円やユーロなどの欧州通貨へ多めに投資しました。第35～36期にかけて、リスク回避的なドル需要を見込み、ユーロなどの欧州通貨への投資を少なめとしましたが、年末に掛けて再び欧州通貨への投資を多めとしました。

○債券種別では、各国の国債を中心とした組み入れとしました。

○外貨建て資産については、通貨配分戦略として一部円買いドル売り等を実施しております。

## ■世界株式マザーファンドの運用

- 株式の組入比率は高位を維持し、第39期期末は97.9%としました。
- 地域別比率につきましては、北米、欧州、アジア・オセアニア（日本を含む）の三地域の投資ウェイトが、概ね各地域の時価総額構成比に準ずるように留意しながら運用しました。第39期期末は、北米50.6%、欧州25.8%、アジア・オセアニア（日本含む）16.4%、その他の新興国市場（台湾、マレーシア、ブラジルなど）5.1%の組入比率としました。
- 業種につきましては、配当利回りの水準、増配の継続性及び配当利回りで見た割安度の判断から、消費安定、公益、通信サービス、ヘルスケアセクターなどに多めに投資しました。一方、金融、資本財セクターは少なめの保有としました。
- 銘柄につきましては、配当利回りの観点から割安と判断でき、過去からの増配実績を確認できるBristol Myers Squibb（米国・医薬品）、Royal Dutch Shell（イギリス・エネルギー）、Merck（米国・医薬品）、Southern Co（米国・公益）、GlaxoSmithKline（イギリス・医薬品）などを組入上位銘柄としました。企業調査の結果や配当利回りの変化を受け、銘柄の入れ替えを行った結果、銘柄数は第39期期末131銘柄としました。
- 外貨建て資産については、為替のヘッジは行いませんでした。

## ■世界REITマザーファンドの運用

- REITの組入比率は高位を維持し、第39期期末は95.5%としました。
- 国別配分につきましては、米国を5割強程度で最大としましたが、世界のREIT市場の時価構成比に概ね準じたものとしております。また、市場平均と比べカナダなどへやや多めに投資する一方、日本やイギリスなどへの投資比率を少なめとしました。第39期期末には、国際分散投資への配慮と高水準の配当利回りの享受をめざし、北米（米国、カナダ）、欧州の一部（オランダ、フランス、ベルギー）、イギリス、アジア・オセアニア（豪州、シンガポール、日本、香港など）に幅広く投資しました。
- 銘柄選択では、相対的な割安性を重視しながら、REIT市場の時価構成比、配当利回りにも配慮しました。第39期期末では、WESTFIELD GROUP（オーストラリア、ショッピング・モール）、SIMON PROPERTY GROUP（米国、ショッピング・モール）などを上位銘柄とし、リスクの分散や純資産の増加にも配慮しながら、組入銘柄数を69銘柄としました。
- 外貨建て資産については、為替のヘッジは行いませんでした。

## 分 配 金

収益分配金は、各期毎の配当等収益などから信託報酬等の諸経費を差し引いたものをベースに、第34期～39期は一万口当り35円としました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## 今後の運用方針

### ■〇〇世界三資産ファンド

当ファンドは、世界債券マザーファンド受益証券、世界株式マザーファンド受益証券、および世界REITマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。各マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界各国の債券、株式、REITに投資することにより、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。

各マザーファンドへの投資比率は、世界債券マザーファンド：世界株式マザーファンド：世界REITマザーファンド＝7：2：1を基本に、高位の組入比率を維持します。

また、決算期毎の分配水準、および分配の安定性にも配慮してまいります。

なお、実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

### ■世界債券マザーファンド

世界的に景気が急速に悪化しており、各国ともに景気の早期持ち直しは見込みにくいと考えています。また、中央銀行が金融緩和姿勢を強めていることから、債券利回りには低下圧力がかかる可能性が高いと考え、日欧の債券の残存年数を長めとします。米国については、雇用者の減少幅が拡大するなど、景気の悪化が鮮明になっているものの、FRBによる長期国債の買い入れ示唆などによって債券利回りは既に大幅に低下しているほか、国債の増発が想定されるなど懸念材料もあることから、中立とします。通貨配分につきましては、米国の財政赤字が増大していることやFRBが資金供給量を拡大していることから、ドル安圧力が引き続きかかるものと考えています。そのため、米ドルを引き下げる一方で、欧州通貨および円への配分を高める方針を継続いたします。

### ■世界株式マザーファンド

世界株式への投資については、企業業績の「果実」である現金配当を定期的に得ながら、短期的な値動きに左右されず中長期的の値上がり益を狙いたい投資家の方々を念頭に運用を行っています。長期的に高い収益を目指すため、企業とのコンタクトを通じ、安定的な収益の源泉となる企業固有の競争力の分析に注力していきます。株式組入比率は高位を維持し、地域配分については、市場の時価総額構成比を配慮する方針です。

### ■世界REITマザーファンド

REITへの投資にあたっては、投資魅力度が相対的に高いと考えられるREIT銘柄を中心とし、相対的な割安性を重視し、成長性や経営のクオリティー、財務の健全性などを含めた総合的な投資価値の評価を行いながら、国・地域、セクター、銘柄の選択と投資配分を決定してまいります。国・地域別配分につきましては、定期的にグローバル投資委員会を開催し、各国・地域における経済、金利動向、長期金利と配当利回りの関係、保有する不動産価値とREIT価格の関係などを総合的に勘案し、重点的に投資を行う国・地域、セクターなどを決定します。当面は、現在の方針を維持し、カナダなどに多めに投資する予定です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

## ファンドデータ

### 組入資産の内容 <2009年1月15日現在>

#### ■マザーファンド比率

	前作成期末		当作成期末	
	実際の資産配分	組入銘柄数	実際の資産配分	組入銘柄数
世界債券マザーファンド	70.3%	39銘柄	68.7%	43銘柄
世界株式マザーファンド	19.5%	136銘柄	20.4%	131銘柄
世界REITマザーファンド	10.0%	66銘柄	10.6%	69銘柄
現金・その他	0.2%	—	0.3%	—
合計	100.0%	241銘柄	100.0%	243銘柄

※資産配分比率は〇〇世界三資産ファンドの純資産に対する比率です。

### 期中の売買及び取引の状況 <2008年7月16日～2009年1月15日>

#### ■マザーファンドの設定解約状況

	第34期～第39期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
世界債券マザーファンド	1,722,582	2,100,000	18,208,232	20,822,700
世界株式マザーファンド	5,088,515	4,679,200	1,759,635	1,786,400
世界REITマザーファンド	4,804,794	4,184,600	846,524	875,700

\*単位未満は切り捨て。

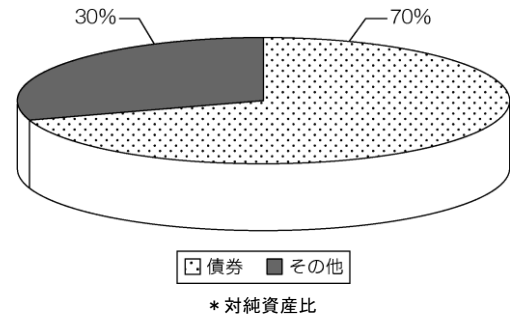


## 世界債券マザーファンドの組入資産 <2009年1月15日現在>

### ■通貨別配分

	純資産比
ユーロ	24.9%
米ドル	17.1%
カナダドル	10.3%
英ポンド	8.3%
日本円	4.5%
シンガポールドル	2.6%
スウェーデンクローナ	1.4%
マレーシアリングギ	0.5%
ポーランドズロチ	0.4%
その他	30.0%
合計	100.0%

### ■資産別配分



### ■上位10銘柄

○第33期末

銘柄名	通貨	比率
FRANCE GOVERNMENT O. A. T	ユーロ	8.8%
国庫債券 利付(10年)第266回	円	7.5%
US TREASURY N/B	米ドル	7.1%
国庫債券 利付(10年)第282回	円	6.2%
US TREASURY BOND	米ドル	6.1%
国庫債券 利付(10年)第50回	円	5.8%
国庫債券 利付(10年)第95回	円	4.7%
US TREASURY BOND	米ドル	4.3%
国庫債券 利付(10年)第288回	円	3.6%
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	ユーロ	3.5%

上位10銘柄が純資産に占める割合は、57.6%です。なお、組入銘柄総数は39銘柄です。

○第39期末

銘柄名	通貨	比率
FRANCE GOVERNMENT O. A. T	ユーロ	7.5%
US TREASURY N/B	米ドル	6.7%
US TREASURY BOND	米ドル	6.3%
国庫債券 利付(20年)第50回	円	6.1%
国庫債券 利付(10年)第266回	円	5.1%
国庫債券 利付(20年)第95回	円	4.9%
国庫債券 利付(10年)第282回	円	4.6%
US TREASURY BOND	米ドル	4.4%
国庫債券 利付(10年)第70回	円	3.8%
国庫債券 利付(10年)第288回	円	3.7%

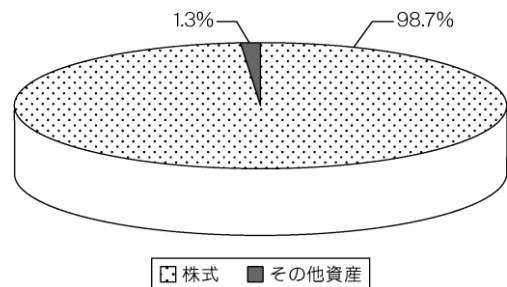
上位10銘柄が純資産に占める割合は、53.2%です。なお、組入銘柄総数は43銘柄です。

## 世界株式マザーファンドの組入資産 <2009年1月15日現在>

### ■通貨別配分

	純資産比
米ドル	45.8%
英ポンド	13.3%
日本円	6.1%
スイスフラン	5.4%
ユーロ	4.8%
その他	23.3%
その他資産	1.3%
合計	100.0%

### ■資産別配分



\* 対純資産比

### ■上位10銘柄

#### ○第33期末

銘柄名	通貨	純資産比
MERCK & CO INC	ユーロ	2.6%
EXXON MOBIL CORP	円	2.3%
CHEVRON CORP	米ドル	2.0%
JOHNSON & JOHNSON	円	2.0%
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	米ドル	1.9%
ALTRIA GROUP INC	円	1.9%
BP PLC	円	1.9%
TOTAL SA	米ドル	1.8%
SANOFI	円	1.8%
GLAXOSMITHKLINE PLC	ユーロ	1.7%

上位10銘柄が純資産に占める割合は、20.0%です。なお、組入株式銘柄総数は136銘柄です。

#### ○第39期末

銘柄名	通貨	純資産比
MERCK & CO INC	ユーロ	2.6%
EXXON MOBIL CORP	円	2.3%
CHEVRON CORP	米ドル	2.2%
BP PLC	円	2.1%
JOHNSON & JOHNSON	円	2.0%
TOTAL SA	米ドル	1.9%
SANOFI	円	1.9%
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	米ドル	1.8%
ALTRIA GROUP INC	円	1.8%
NOVARTIS-REG	ユーロ	1.6%

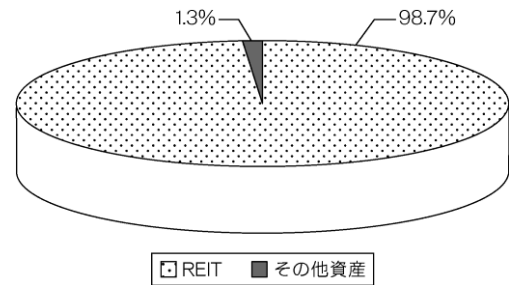
上位10銘柄が純資産に占める割合は、20.1%です。なお、組入株式銘柄総数は131銘柄です。

## 世界REITマザーファンドの組入資産 <2009年1月15日現在>

### ■通貨別配分

	純資産比
米ドル	45.8%
英ポンド	13.3%
日本円	6.1%
スイスフラン	5.4%
ユーロ	4.8%
その他	23.3%
その他資産	1.3%
合計	100.0%

### ■資産別配分



\* 対純資産比

### ■上位10銘柄

○第33期末

銘柄名	通貨	純資産比
SIMON PROPERTY GROUP INC	ユーロ	7.1%
HOST HOTELS & RESORTS INC	円	4.0%
WESTFIELD GROUP	米ドル	3.7%
EQUITY RESIDENTIAL	円	3.6%
BOSTON PROPERTIES	米ドル	3.5%
VORNADO REALTY TRUST	円	3.5%
PROLOGIS	円	3.0%
UNIBALL RODAMCO	米ドル	2.7%
PUBLIC STORAGE	円	2.7%
AVALONBAY COMMUNITIES INC	ユーロ	2.7%

上位10銘柄が純資産に占める割合は、36.4%です。なお、組入銘柄総数は66銘柄です。

○第39期末

銘柄名	通貨	純資産比
SIMON PROPERTY GROUP INC	ユーロ	7.4%
WESTFIELD GROUP	米ドル	4.0%
BOSTON PROPERTIES	米ドル	3.4%
EQUITY RESIDENTIAL	円	3.4%
VORNADO REALTY TRUST	円	3.0%
PUBLIC STORAGE	円	2.9%
HEALTH CARE REAT INC	米ドル	2.9%
UNIBALL RODAMCO	米ドル	2.8%
AVALONBAY COMMUNITIES INC	ユーロ	2.6%
HCP INC	米ドル	2.6%

上位10銘柄が純資産に占める割合は、35.0%です。なお、組入銘柄総数は69銘柄です。

## 1万口当たりの費用の明細

項 目	第34期～第39期	
	金 額	率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	48円 (22) (24) (2)	0.611% (0.280) (0.305) (0.025)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	2 (1) (1)	0.025 (0.012) (0.012)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	0 (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000)
(d) 保 管 費 用 等	1	0.012
合 計	51	0.649

\* 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 有価証券取引税、(d) 保管費用等は、各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

## 純 資 産 等

項 目	第34期末	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末
純 資 産 総 額	142,616,272,286円	132,890,732,709円	118,724,326,540円	106,164,940,400円	105,311,129,774円	101,615,713,298円
受 益 権 総 口 数	154,824,798,921口	153,311,008,773口	149,475,774,922口	147,912,365,518口	147,102,368,757口	146,282,406,932口
1万口当たり基準価額	9,211円	8,668円	7,943円	7,178円	7,159円	6,947円

## 分 配 金

### ■ 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税引前)

	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期
当期分配金	35	35	35	35	35	35
当期の収益	24	24	25	23	21	21
当期の収益以外	10	10	9	11	13	13
翌期繰越分配対象額	296	281	266	249	231	212

◇ 当期の収益、当期の収益以外は小数以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## お知らせ

投資信託約款において「指定格付機関」の文言を削除する等の所要の約款変更を行いました。

\*参考指数は、各マザーファンドの参考指数より当社が独自に算出(各マザーファンドへの基本とする投資割合7:2:1で合成)したものです。なお、設定時を100としています。  
<各マザーファンドの参考指数>  
【世界債券マザーファンド】シティグループ世界国債インデックス(円換算ベース)  
【世界株式マザーファンド】MSCIワールド・インデックス・フリー(円換算ベース)  
【世界REITマザーファンド】S&P先進国REIT指数<sup>※</sup>(円換算ベース)

\*シティグループ世界国債インデックス(円換算ベース)は、シティグループ世界国債インデックスに含まれる各国の国債インデックス(現地通貨ベース)を基に、当社で独自に各通貨の為替レートを考慮して円換算したものです。従って、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが公表するものとは異なります。  
シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関するすべての権利は、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが有しています。

\*MSCIワールド・インデックス・フリー(円換算ベース)は、MSCI World Index Free(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。  
MSCI World Index Freeは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

\*S&P先進国REIT指数(円換算ベース)は、提供の数値をもとに、当社が独自に円換算したものです。  
S&P先進国REIT指数はザ・マグロウヒル・カンパニーズの所有する登録商標であり、野村アセットマネジメントに対して利用許諾が与えられています。スタンダード・プアーズは本商品を推奨・支持・販売・促進等するものではなく、また本商品に対する投資適格性等に関しいかなる意思表示等を行なうものではありません。

\*各指数の円換算ベースの算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート(対顧客電信売相場仲値)で円換算しています。  
<sup>※</sup> '08年10月1日より名称変更しております。(旧名称はS&Pシティグループ・グローバルREITインデックス)  
(出所)シティグループ・グローバル・マーケット・インク、MSCI、スタンダード・アンド・プアーズ、ブルームバーグ。